国による大学院「授業料後払い制度」申請書

立正大学大学院（修士課程）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ  氏　　名 |  | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| 学籍番号  （判明している方のみ） | 2 | 4 | 2 | (英) |  |  |  |  |  | （立正大学大学院） |
| メールアドレス |  | | | | | | | | | |
| 連絡先電話番号（携帯） |  | | | | | | | | | |
| 住所 |  | | | | | | | | | |
| 進学予定の研究科名 |  | | | | | | | | | |
| 給付奨学生番号 | 52　　　―　　　　—　　　　　　　（日本学生支援機構・学部生の時のもの） | | | | | | | | | |
| 出身大学・学部名 | 大学　　　　　　学部（　　　　年度卒・卒業見込み） | | | | | | | | | |
| 確認欄（□の中に内容を確認のうえ、すべてに✔を入れてください。） | | | | | | | | | | |
| □　本制度は貸与型の制度となり、修了後、返還が必要になります。  （ただし、授業料支援金、生活費奨学金は、第一種奨学金制度と同様に返還免除制度へ申請が可能です。）  □　本制度を利用する場合は、大学院修士課程における日本学生支援機構第一種奨学金の利用はできません。  　（日本学生支援機構第二種奨学金の利用は差し支えありません。）  □　本制度は保証料がかからない人的保証ではなく、機関保証でのみ利用が可能です。返還に際しては、後払いとなった授業料に加え、保証料を合算したものの返還が必要です。  □　申請後、2024年9月頃に案内される手続きも必ず実施が必要です。  　　上記確認のうえ、手続きを希望いたします。  　記入日：　　　　年　　月　　日　　署名（直筆）： | | | | | | | | | | |